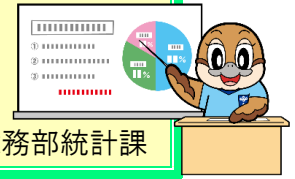


惣菜の購入状況



大阪府総務部統計課

6月18日はおにぎりの日だそうです。おにぎりは自分で握るとかたすぎたり柔らかすぎたり……、結局手間も考えると買ってしまいます。おにぎりだけでなく、揚げ物やサラダ、中華惣菜等、スーパーやコンビニ、百貨店等のお惣菜を買って利用する方もいるのではないのでしょうか。近頃では、種類も多くなって、利便性だけでなく、日々の楽しみにもなっていることと思います。

そこで気になったのが、惣菜は数字上、昔よりも売れているのかな？ ということでした。

家計調査では「調理食品」の項目があり、その定義は、「工業的加工以外の一般的に家庭や飲食店で行うような調理の全部又は一部を行った食品。冷凍調理食品、レトルト食品及び複数素材を調理したものも含める。」です。これが惣菜に当たると考え、その購入状況を見ていくことにしました。

1. 購入額と割合

e-Stat(政府統計の総合窓口)で公表されているデータを元に、大阪市の食料全体に占める「調理食品」の購入額とその割合が増加しているかみてみました。

食料全体に占める調理食品の割合（大阪市）



※ 各年度下の金額は食料全体の合計金額。調理食品割合下の金額は調理食品の合計金額。

調理食品

調理食品について令和4年の購入額は、大阪市は156,964円、全国では145,163円でした。購入額を比較すると、大阪市の方が、約8%全国よりも多くなっています。

また、食料全体に占める調理食品の購入額割合は近年増加しています。大阪では平成20年に11.7%だったものが令和4年には15.2%に達しています。全国では平成20年に10.9%から令和4年に14.8%になっています。(なお、令和2年以降は、コロナ禍の影響か、外食の割合が減少しました。平成20年には19.4%でしたが、令和4年には5.1%減少し14.3%となりました。)



2. 地方ごとの購入傾向

[「家計調査\(二人以上の世帯\)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市\(※\)ランキング」](#)からは、どんな惣菜がどこでどれだけ買われているのか、購入額ベースで確認できます。

※ 都道府県庁所在市以外の政令指定都市(川崎市、相模原市、浜松市、堺市及び北九州市)

		年間一世帯当たり・単位(円)							
		すし(弁当)		うなぎのかば焼き		コロッケ		他の調理食品のその他	
H 2 6 1 2 8	1	奈良市	16,390	浜松市	6,403	京都市	3,012	京都市	39,315
	2	京都市	16,364	大津市	3,760	福井市	2,973	大阪市	36,764
	3	高知市	15,655	京都市	3,684	大津市	2,796	東京都区部	36,054
	4	静岡市	15,535	名古屋市	3,402	大阪市	2,643	福井市	35,912
	5	金沢市	15,000	東京都区部	3,289	神戸市	2,583	堺市	34,494
	全国		12,544		2,380		1,974		29,381
H 2 9 1 R 1	1	大阪市	15,906	京都市	4,558	福井市	2,933	福井市	42,051
	2	金沢市	15,741	浜松市	4,350	大津市	2,764	東京都区部	40,923
	3	奈良市	15,588	大津市	3,807	京都市	2,721	大津市	38,206
	4	富山市	15,541	大阪市	3,595	大阪市	2,424	大阪市	37,804
	5	静岡市	15,434	奈良市	3,498	松江市	2,359	神戸市	36,921
	全国		13,151		2,392		1,966		32,332
R 2 1 4	1	奈良市	18,519	浜松市	4,690	福井市	3,210	東京都区部	45,844
	2	前橋市	18,190	京都市	4,445	富山市	2,828	神戸市	43,548
	3	富山市	16,761	大津市	3,739	京都市	2,750	福井市	43,275
	4	徳島市	16,674	東京都区部	3,531	大津市	2,674	那覇市	42,862
	5	千葉市	16,645	金沢市	3,526	奈良市	2,409	大阪市	40,888
	全国		14,611		2,709		1,965		35,974

平成 26 年から平成 28 年、平成 29 年から令和元年、令和 2 年から令和 4 年の 3 年平均のそれぞれで近畿圏が上位に入っているものを見ていくと、大阪市は平成 29 年から令和元年で「すし」では 1 位です。平成 26 年から平成 28 年、令和 2 年から令和 4 年では奈良市が 1 位です。

このランキング中、大阪市が上位にいる「他の調理食品のその他」とは、家計調査の品目分類のうち、「364～375(うなぎのかば焼き、サラダ、コロッケ、カツレツ、天ぷら・フライ、しゅうまい、ぎょうざ、やきとり、ハンバーグ、冷凍調理食品、そうざい材料セット)の項目に分類されない「他の調理食品」。缶詰・瓶詰も含む。ただし、中身の主成分が魚介又は肉である缶詰及び瓶詰は 216(魚介の缶詰)又は 229(他の加工肉)に分類する。加工賃も含む。」と定義されています。主菜副菜の多様な品目を意味しています(定義につき[参照](#))。

例えば、ひじきの煮物やきんぴら、ミートボール、レトルト食品等が「他の調理食品その他」にあたります。

「うなぎのかば焼き」は近畿圏では京都市、大津市が上位、「コロッケ」も和歌山以外では広く購入されている模様です。



近畿地方以外でも、特色が出ていると感じる品目がありました。

ご当地グルメと呼ばれるような品目です。上記の「うなぎのかば焼き」で浜松市が上位に入っていますが、他の品目でもご当地がランクインしています。

年間一世帯当たり・単位(円)

		しゅうまい		ぎょうざ		カツレツ		天ぷら・フライ	
R 2 I 4	1	横浜市	2,229	宮崎市	3,969	福井市	3,924	福井市	17,051
	2	川崎市	1,775	浜松市	3,642	富山市	3,360	富山市	15,759
	3	東京都区部	1,582	宇都宮市	3,529	甲府市	3,168	新潟市	14,940
	全国		1,070		2,081		2,088		11,968

令和 2 年から令和 4 年の 3 年平均をみると、「しゅうまい」は横浜市、川崎市の神奈川県内の市が 1 位、2 位です。

「ぎょうざ」は 1 位宮崎市、2 位浜松市、3 位宇都宮市でした。

ちなみに、[公益社団法人宮崎市観光協会](#)では、「宮崎市の年間日本一は、あなたの一口にかかっています！！」をスローガンに3連覇を目指しておられるそうです。各地域のご当地グルメへのプライドを感じます。

また、「カツカツ」「天ぷら・フライ」では福井市、富山市、新潟市がトップ3です。因みに、福井市は「コロッケ」でも上位でした。

これらの結果を見ていただだけでも、地域によって違いが出て面白いですね。テレビでご当地グルメを話題にした番組が多いのも、納得ができます。



惣菜ばかりだと塩分や油分等健康面で不安があるというご意見もあるようですが、現代人には時間も重要です。更なる健康的な惣菜の登場に期待しつつ、賢く利用してより良い生活を送りたい、と感じます。



トーカー
【Let's統活！】統計課からのお知らせ



統計データ利活用に役立つ情報や、実施予定の統計調査のご案内です。

第64回大阪府統計グラフコンクール作品募集！

府民の皆様に統計グラフの作成を通じて、統計への理解と関心、親しみを深めていただくことを目的として、大阪府主催により毎年開催しています。

府内在住・在学・在勤の小学生以上の人ならどなたでも応募できます。

応募者全員に参加賞プレゼント！夏休みの自由研究にいかがでしょうか？

令和5年9月8日 金曜日 <必着>

詳しくは[こちらのページ](#)をご覧ください。



☒ お問合せはこちら

[大阪府統計課へのお問合せ](#) | [大阪府行政オンラインシステム \(task-asp.net\)](#)
[大阪府総務部統計課分析・利活用促進グループ](#) ☎06-6210-9196